

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		逆井調整池整備事業						予算事業名		市制施行60周年記念事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	下水道法					
				02	01	07	65	経常経費							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業					
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)								重点事業					
		①防災対策の充実						担当課係等		下水道課					
		6雨水の適正処理								工務係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
公共下水道(雨水)の整備を推進し、市街地の浸水を防止し、安全・安心な生活環境の確保を図る。								H6着手の北西部区画整理事業に伴い雨水調整池が必要となった。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
西仁連川第一排水区雨水調整池の整備を行う。 第一調整池を先行整備し、その後、第二・第三調整池を段階的に整備する。								公共下水道(雨水)西仁連川第一排水区域内(118.8ha)の市民							
【事業をとりまく環境の変化】								近年のゲリラ豪雨の増加により、雨水排除の重要性が高まっており、早急な整備が望まれている。							
【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】				【令和5年度 事業内容】							
第一調整池工事				第一調整池工事				第一調整池工事							
■事業費															
				R01年度		R02年度									
財源内訳	国庫支出金	0		0											
	県支出金	0		0											
	地方債	0		0											
	その他	0		0											
	一般財源	0		0											
歳入計(千円)		0		0											
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)										
歳出計(千円)(A)		0		0											
伸び率(%)															
備考	総合計画82ページ 予算書 ページ														

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	区画整理事業の進捗により、ますます必要性が高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
平成27年度に基本設計を実施したところ、地盤が軟弱で止水層が浅いところに無いことがわかり、地盤改良や止水矢板の施工費などが当初の予想を上回る概算となった。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
詳細設計において事業費の削減を模索し、早期の工事着工を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 適正な雨水処理のため逆井調整池は必要不可欠であり、早期に事業着手しなければならない。当初予想を超える事業費が算定されたことから、国庫補助事業の積極的な活用を図るとともに、工法等の検討により事業費縮減に努め、計画的に事業を推進する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	